

健康と光線

発行所
光線療法
普及協会

(年2回発行)

〒153-0063
東京都目黒区目黒
1-23-11
電話 東京 (03)
5759-6333

昨年一月号から三回にわたり、創業当時を振り返った宇都宮義真の手記を掲載しましたが、多くの方々から、光線療法普及にかけた祖父の思いを感じ取るこ

とができました、戦後の自分の苦勞と重なりましたといったご感想を頂戴致しました。

今回、その中から、ご自身の歩まれた道のりを投稿してくださいました。愛用者さまのお便りを掲載させていただきます。

神奈川県秦野市

在住のご愛用者様

前略 御免下さいませ。

突然のお便りですが、私のサナモアとの出会いのお話を書きたくなりました。平成二十九年一月の「サナモアと共に歩んだ

道」を読んだ時から、遠い遠い昔の懐かしい日を思い出していました。

私は昭和十年九月に生まれ今82歳になりました。出身地は

「サナモアと共に歩んだ道」

掲載を終えて

代表取締役
医学博士

宇都宮 正範

大分県南海部郡蒲江町で現在は佐伯市に統合されております。

太平洋に面したリアス式海岸の続く豊後水道の小さな漁村の点在する中の一つの町でした。このことを申し上げますのは、この小さな遠くの町に私の幼い頃すでに光線器があったと云う事

京に出て二人で暮らそうとまで云って下さったのに断って実家に帰りました。若い頃女学校の前身の塾に入っていた人で、船旅とおかごに乗って伊勢神宮まで修学旅行に行ったという気位の高い人でしたが、その後広島からこの地方にお酒をおろし販

売してこの地を気に入った小父さんと再婚して暮らしていました。吹き抜けのお店で田舎には珍しく素敵なお家でした。

この家には町のいろんな方が出入りしていて、その一人は祖母の従姉の長男で、芝居小屋や映画館を作った和服姿のかわった人でした。この人は伯母の家に来る毎に、圧力なべとか、かもしひもをかけて藤であんだいすのブランコとか珍しいものを持参していました。そのうちの一つが光線器でした。伯母は別府温泉に行ったり、船に乗って宮崎の病院に行ったりしていました。子供に恵まれずのんびり暮らしていました。多分そんな中でこの器械を使っていたのでしょう。

その後、私の父は、兄、姉、私の三人を残して急死しましたので、姉は幼い時にこの家の養女となりました。姉のいる伯母の家へ私は日々遊びに行っておりました。私達の小さい頃、田

夏季臨時休業

のお知らせ

八月十一日(土)から十五日(水)まで夏季臨時休業致しますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(株)東京光線メディカル
サナモア治療院ソレイユ

(前ページからつづ)

いろんな楽しい思い出の中に、この一コマは絶対入れておきたい一コマです。

それから二十数年後、私は結婚して東京に住むことになりました。東京には兄もいて、義姉

がまた光線器を持っていました。自身の経験から、光線の良さを信じ切っている人です。私はこのことや田舎の思い出があり、いつかその内、私も器械の購入はしようと決めておりました。すでに九州の姉も、伯母のあと新しく購入しておりました。

平成二、三年頃、私達は孫達の住む秦野に来ておりました。毎年夏には八人で伊豆方面の海に海水浴に行くのが楽しみでした。ある年、浅瀬を歩いていて転んで大きな石におしりをぶつけてしまいました。孫を膝に乗せたり、車に長く乗ったりして帰宅後、ソファにもかけられない痛みができました。すぐに光線

器を求めました。病院にも行かず何日過ぎたのか記憶にありませんが、おしりの打撲は後遺症もなく良くなりました。その後も私共女三人、ずっとあちこちに折々病院通い入院もしましたが元気で暮らしております。

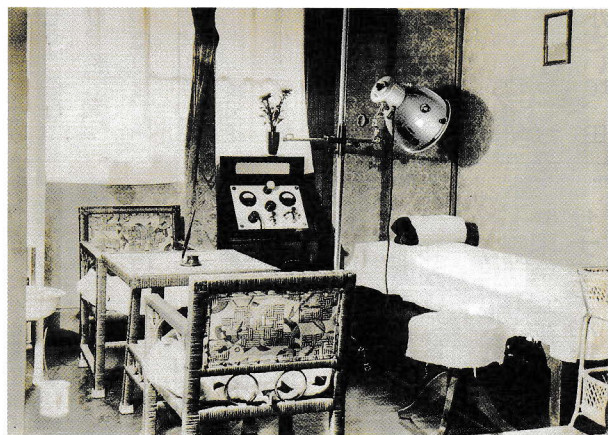
「健康と光線」の先生方も、長い歴史の中で精進されて来られましたこと、おめでとうございます。太陽と青空が大好きで年老いて来ましたが、この恵みは大切なものと存じます。皮膚ガン等どこにも出来ません。強い陽ざしの中、海で半日遊んでいました。今は老いて疲れると光線器です。

先頃めまいがあつてCTで頭部の診察を受けました。「頭蓋骨の厚みが多い」と先生がおっしゃいました。きっと田舎で一杯太陽の下で遊んだからでしょうと私は答えました。

これから暇になりましたら、訪れる友人、知人と、共に光線をかけられる部屋を持ちお茶を



港区高輪の頃の研究所風景
(昭和10年頃)



治療室風景

スタッフ募集

サナモア治療院 ソレイユ で働いてみませんか

サナモア治療院 ソレイユでは、現在、治療師を募集しております。仕事の内容は、利用者さまの対応全般と実際の治療が中心で、とてもやりがいのある仕事です。ご興味がおありの方は、下記までご連絡くださいますようお願い致します。



サナモア治療院 ソレイユ

TEL 03-5759-3710

J R 目黒駅徒歩 6 分

院長 宇都宮 正範

**第二十三期
サナモア光線治療師
養成講座を東京にて開講**

第二十三期サナモア光線治療師養成講座を、六月八日、九日の二日間の日程で開講致しました。今回は十四名ものご参加をいただき会議室はほぼ満席状態でしたが、受講生の皆さまの熱き思いを肌で感じることができました。



vol.71 宇都宮 正範

今回、治療師認定を受けられた方々をご紹介します写真。



治療師認定者

齋藤節子(東京都、宮嶋研一(愛知県)、富川依子(千葉県)、富川弘毅(千葉県)、水谷範久(愛知県)、加藤史津夏(宮城県)、枝亮(東京都)、鈴木博子(宮城県)、津川奈津子(宮城県)、清水博子(兵庫県)、清水慎悟(兵庫県)、住田幸一(東京都)、石田薫美(神奈川県)、菊池千恵子(茨城県)。敬称略。

第四十九回 「光と熱研究会」 のお知らせ

医療に関連した話題の講演や



三月九日、新大阪にて関西支部講演会を開催しました。当日は、神戸の上野郷子先生(ウエノ光線療研)をはじめとして三十五名ものご参加を頂き、盛況のうちに幕を下ろしました(写真)。

◆関西支部講演会



治療例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時：十月二十七日(土)
午後二時三〇分

場所：(株)東京光線メディカル
本社 三階会議室

サナモア講演会 開催予定のお知らせ

◆東北支部講演会

日時：九月八日(土)

午後三時開始

会場：岩手県情報交流センターアイーナ

会議室701

住所：盛岡市盛岡駅

西通一七一一

電話：019-606-1717

交通：JR「盛岡駅」から

徒歩4分

◆九州支部講演会

日時：十月十二日(金)

午後三時開始

会場：福岡ビル九階5ホール

住所：福岡市中央区

天神一十一一十七

電話：092-716-8021

交通：地下鉄空港線「天神駅」

から徒歩4分

【講演内容】

光線療法の実践

「光と熱の効果を活かす」

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

サナモア光線協会

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-6333

治療例報告

サナモアで

腰椎椎間板ヘルニアを治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏報告

TEL 〇七八—三三—二二五八

症例 38歳 男性

症状 ゴルフ中に腰を痛めて、整形外科で数週間の治療を受けたが、約半年後に再発。コルセツト、牽引療法を試みるも改善せず、冷えにより痛みが増す状況に陥っていた。十二月に入ると体動により腰に激痛が走り、病院では腰椎椎間板ヘルニアに対する手術を勧められた。

来所時は椅子に腰掛けて数分と同じ姿勢をやるということができず、問診中、机に手をかけて前屈みになり、非常につらそうな様子であった。

療法経過 当初、治療はA Bカーボンで足裏を30分照射し、激痛が緩和してから、足裏10分と膝

10分照射。B Bカーボンにて腰部を30分照射後、集光器を使用

して、左右の下腹部を10分、背部を10分照射した。自宅での治療は、一日一回を原則としたが、腰痛が著しい時には、一日二回の腰部照射を指示した。約十日で腰痛は軽減し、二か月後には、靴下をはく姿勢をとっても腰痛を感じなくなった。

治療例報告

腰痛と不眠症がサナモアで軽快

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 〇九—五八一—〇三九
五七二—二五七三

症例 82歳 女性症状 サナモアご愛用者。これまで光線治療器を秘密兵器と言って、何でも光線で治してきた。たまたま他の治療法にもご興味を持たれ、腰痛のため何回か通院したが、かえって腰痛は悪化し、今日はもう歩けなくなる程痛くなったのでどうしたら良いかとの質問

を電話で受けた。
療法経過 自宅での治療は、B Bカーボンの組み合わせで患部を何時間でも痛みが和らぐまで照射するよう指示。痛みが軽減したら、今度はB Cカーボンに変更して、患部を中心に照射するよう指示した。
数週間後に「先生の指導通り

はつらつさんと ジョイントカーボン

サナモア光線治療器はカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するよう、正面からカーボンをつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきました。この点を改良したのが全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5

分刻みで60分まで設定でき、カーボンの消耗に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。なお、現在は手動式も製品ラインナップに加えております。

はつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧ください。

に治療したら改善しました」との電話報告を受けた。さらに長年の不眠症に対しては、A Aカーボンで後頭部を照射するよう指示していたので、確認したところ、「24年間も続けていた睡眠薬を飲まないでも済むようになりました」と大変喜ばれていた。これまで私も基本照射の重要性を説明してきましたが、この方も今回の経験で、光線療法の有り難さが身にしみて分かれたようで、「やっぱり秘密兵器です」と話されていました。

治療例報告

前立腺癌に対するサナモア使用経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 〇四四一七三二五〇六七

症例 71歳 男性

症状 サナモア愛用者。前立腺肥大症にて通院中の患者。平成二十四年八月に病院で施行した検査で前立腺癌を指摘された

ため、病院での治療と並行して当院での光線療法を開始した。療法経過 治療には四台の光線治療器を使用し、BDカーボンの組み合わせにて施行。初めは

側臥位にて、顔面に15分、腰部と肛門に30分、下腹部と会陰部に30分、後頭部に15分、足裏に15分照射。その後、仰臥位に変更し、左右の股関節と左右の膝側面に15分照射して終了した。その後光線療法を継続し、平成二十八年五月、病院での再検査の結果、医師からは経過良好との説明を受けており、光線療法を現在も続けている。

で治療。病院の医師には形成外科を紹介されるも、治療の目処が立たず、切斷の恐怖を感じていた。

そのような時に、三月三十一日から光線治療を開始。午前、午後の二回、ABカーボンにて、足趾先端と足裏を同時に20分、膝10分、腹10分、腰10分照射。

光線を開始した頃は写真を撮る気にもなれず、今になってみれば後悔しています。今は完全に皮膚ができており、ガーゼや靴下の上からでも触れると飛び上がるほど痛がっていたのですが、痛みは完全になくなっています。

【解説】

今回ご報告頂きました貴重な体験談の経過から、血液循環の大切さがよく分かることと思います。血管は心臓から送り出された血液を全身に届ける動脈、末梢から心臓へ戻る静脈、そして動脈と静脈の間をつなぎ全血管の95%を占める毛細血管からなります。毛細血管は内皮細胞で壁を構成する一層構造の管で、細胞と細胞がくっつき合って管を形成しており、細胞間のすき間を通して、身体のなかの37兆個もの細胞と物質交換を行っています

(次ページへつづく)

体験談報告

サナモアで足趾の

血行障害が改善しました

東久留米市

平林 美代子様報告

この度は母84歳の治療のために光線を使い、功を奏して回復しつつあることに感謝し、まだ途中経過ではありますが、これまでの経過を報告します。

約五年前からリウマチを患い大学病院通院。一時寛解状態と説明されたが、投薬は継続。その後、腎機能が悪化。二〇一六

年十二月、ペースメーカー手術。

二〇一七年八月、コレステロール塞栓症にて、両側足趾の先端が血行障害を起こし、チアノーゼとなったため榊原病院に入院。

二〇一八年一月十二日、心臓の冠動脈バイパス手術施行。三月六日に腹部大動脈瘤に対する開腹手術を施行。術後、塞栓症の



(写真1 治療開始)
足趾にチアノーゼ著明、
第4趾先端部に潰瘍形成



(写真2 途中経過)
第4趾先端部の潰瘍は改善



(写真3 ほぼ治療)
軽度のチアノーゼを残すのみで改善

(前ページからつづく)

います。細胞に栄養や酸素を与え、老廃物や二酸化炭素を運び出していることから、毛細血管は細胞が生きるか死ぬかの決定権を持つこととなります。

それほど重要な毛細血管も加齢や病気により劣化をきたし、

循環不全から組織が壊死をきたすことがあります。残念ながら

現在の医療において毛細血管を効率的に増やす方法はありません。このような症例こそ、光線

療法により適応であり、足趾を切断せずに済んだ貴重な症例と考えられるのです。

体験談報告

夜間眠ることができない程の

耳の痛みがサナモアで改善

小林 みゆき様報告

これまでも、頭痛、腹痛など具合の悪い時、疲れて動けない時、サナモアは昼夜を問わず助けてくれるかけがえのない存在でした。

夏の終わり、急に耳の奥が痛み始めました。いつものことなので光線を耳にかけていれば数日で治ると思いましたが、この時はだんだん痛みがひどくなり、頭から首筋にかけて痛みが強く

なっていました。しかたなく耳鼻科を受診したところ、耳の炎症との説明を受け、耳の穴の中に軟膏を塗り消炎鎮痛剤の頓服を処方されました。耳の炎症で

頭痛はよくあるとのことでしたが、頓服薬を飲んでもなかなか痛みがおさまらず、夜中に目が覚めてしまいました。じきに痛みはおさまると思っていたても、

痛みで眠ることができず、耳に

光線を当て続けたところ、だんだんと痛みはおさまり、気持ちがよくなりいつの間にか眠りにつくことができました。

数日間光線を当て続け、頓服薬を飲みきらないうちに耳の痛みはおさまりました。光線のおかげで痛みはおさまり、夜も気持ちよく眠ることができ、あらためて光線の存在に感謝です。

サナモア体験記募集

光線療法普及協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@sanamore.co.jp

Sanamore

光線療法普及協会

趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行
二、サナモア光線治療師の養成
の事業を行います。

光線療法普及協会

医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-23-11

光線療法普及協会TEL(03) 五七五九-六三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)